

船橋市議会議員

たけと

市議会レポート

## ひいろ健人

第54&55  
合併号

発行：ひいろ健人事務所 船橋市海神 6-11-9 Tel 047-420-1800 FAX 047-420-1801

E-mail info@taketo2784.net <http://www.taketo2784.net> (活動ブログ更新中!)

## 令和3年を迎えて～困難を乗り越え、皆に笑顔の戻る日を～

気持ちも新たに、令和3年を迎えました。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大は今なお収束の気配を見せず、社会全体に大きな影響を及ぼし続けています。罹患された皆様に心からのお見舞いを申し上げるとともに、年末年始もなく今この瞬間にも、それぞれの立場でこの難局に向き合っているすべての皆様に対し、深い感謝と敬意を表したいと思います。

昨年の船橋市を振り返ると、やはり感染症対策に翻弄された一年であったとのひとことにつきます。多くの市内行事が中止や延期を余儀なくされたほか、飲食店をはじめとする市内経済は大きな影響を受けています。また、身近な市民生活のあらゆる場面に、感染症の拡大が暗い影を落とし、これまでとは異なる「新たな生活様式」には、頭では分かっているがなかなか慣れることができないというのが正直なところではないでしょうか。

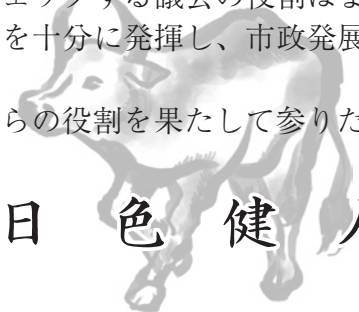
一方で、全国的には人口減少の局面に入っているにもかかわらず、船橋市の人口は昨年3月に64万人を越え、今後とも増加することが見込まれています。今回、中核市である本市が、その権限により独自に市保健所を設置していたことは、感染症対策において大きな強みとなりました。市保健所による素早い検査体制の確立や、感染防止対策に関する様々な知見の提供がなされたことは、市民の安心につながったものと感じています。このように、市がこれからも人口規模を維持し、ふさわしい行政組織を備え、活力あるまちであり続けることは、市民の生活にとって必要不可欠なことがらだと考えます。

いま、世界中が困難に直面するなかで、改めて政治の役割、政治家の資質が問われています。感染症対策とそれに伴う様々な社会の課題という、正解のない問いに対して、常に市民、特に弱い立場の方々に寄り添い、粘り強い合意形成を図りつつ、必要に応じ果敢な判断を下すことのできる政治が求められているのです。今年3月に県知事選挙、6月に市長選挙、そして年内いずれかの時期に衆議院議員選挙が執行される選挙の年でもあります。こうした困難な中だからこそ、有権者の皆様には民主主義の力を信じ、ふさわしい政治家を選んでいただきたいと思えます。

私も一昨年5月の市議会議員就任から、1年半あまりが過ぎました。この間、感染症対策を行いながらの議会運営に苦心していますが、大きな支障なく各定例会の会期を終え、必要な議決を行ってこられたことに安堵しています。市民生活に様々な困難がある今だからこそ、そうした市民の声を市政に反映し、その執行をチェックする議会の役割はますます大きいものと感じています。議長として引き続き、議会また各議員がその権能と役割を十分に発揮し、市政発展のために寄与できるよう、注力していきたいと思えます。

今年が、市民の皆様にとり、困難を乗り越えて笑顔を取り戻す一年となるよう、私も自らの役割を果たして参りたいと思えます。市民の皆様のご理解とご支援を心からお願いいたします。

令和3年 元旦 日色健人



## 12月議会閉会

### ～コロナ対策・保育士確保のための新たな補助制度ほか～

去る12月21日(月)、令和2年第4回定例会(12月議会)は市長提案の36議案ほかを可決し、閉会しました。主な議案として、国の人事院勧告に準拠して一般職・特別職の期末手当(ボーナス)を引き下げる条例改正、国の新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用し、保育士確保緊急対策を行う補正予算、また市役所のテレワーク推進に必要な機器等の契約に関する議案、市内小中学校の児童生徒用にタブレットを整備するための契約に関する議案等が提案され、いずれも可決されました。

このうち、保育士確保緊急対策については、コロナの影響により、合同保育士就職説明会が中止となったり、養成校の保育実修スケジュールにも影響が出ていることから、例年より採用活動に制約が見られるとのことで、やむをえず保育所等が人材紹介事業者を利用して保育士を確保する際にかかる紹介手数料に対して補助を行うものです。

現在も待機児童を抱える本市にとって、保育士確保対策は喫緊の課題であり、これまでも市独自の給与の上乗せ(いわゆる「船橋手当」)や宿舍借り上げ費用補助などさまざまな手段を講じていますが、引き続きあらゆる方策を通じて、保育士の方々に選んでもらえるまちとなるよう努めていきたいと思えます。



# 指定管理者制度の導入進む ～運動公園・市営住宅などへ民間活力を導入～

指定管理者制度とは、平成15年9月の地方自治法の改正により創設されたもので、公の施設の管理運営を民間事業者やNPO法人等の指定管理者に一括して委任する制度です。多様化する住民ニーズに対し、より効果的、効率的に対応するために、民間の創意工夫やノウハウを活かして住民サービスの向上を図るとともに、管理運営の効率化を図ることを目的としています。

船橋市ではこれまで、船橋アリーナやアンデルセン公園など複数の施設に指定管理者制度を導入し、効果を上げてきましたが、同規模の他の自治体と比較すると遅れを取っている状況でした。

このことについて、3年前の平成29年12月議会で私は以下のように指摘しています。

## ★平成29年12月議会 一般質問「業務改革について」

**日 色** 船橋市の状況を他市と比較すると、指定管理者制度の導入が遅れていることが見て取れる。については、市営住宅、市営霊園、放課後ルーム及び児童ホーム、保健センター、運動公園やグラスポ等の体育施設について、指定管理者制度の導入の是非、検討の状況、今後の方針について伺う。

**企画財政部長** 議員ご指摘のとおり、本市の指定管理者制度の導入率は低い状況にあると認識している。本市においても要件の整った一部の施設に対して導入を行ってきたが、他市ではもっと広範囲にわたる分野で指定管理者制度の導入が進んでいる。議員が先ほど例として挙げた各施設も含め、導入の是非やその背景について検証を行うため、調査を進めている。また、船橋市行財政改革推進会議においてもテーマとして有識者の方々等のご意見をいただく予定である。

この質問のち、市では行財政改革の一環として更なる指定管理者制度の導入を推進し、この12月議会までに、上記の質問で指摘した各施設のうち、運動公園およびグラスポ（法典公園）、市営住宅などへの導入および受託者が提案され、いずれも可決されました。また、すでに指定管理者制度が導入されている船橋アリーナにおいても、このたび公募により新たな受託業者に交代することが決まりました。（下表参照）

今後引き続き、民間活力を導入できる施設が無いか、検討を進めるとともに、指定管理者が適切に公の施設を運営しているかチェックしていく必要があると考えます。制度の導入によって、市民の利便性が向上し、行政のスリム化に寄与することを期待しています。

## 新たに指定管理者制度の導入・変更が決まった施設

施設名	指定管理者名	指定管理開始の時期	備考
運動公園&グラスポ	ふなスポ活き生きパークパートナーズグループ	令和3年1月1日～	ミズノ・コナミスポーツ等6社合同
市営住宅（1,432戸）	（株）東急コミュニティー	令和3年4月1日～	
一宮少年自然の家	（株）オーエンス	令和3年4月1日～	
船橋アリーナ	ふなばしスポーツ健康パートナーズ	令和3年4月1日～	コナミスポーツ等2社合同

# 活性化する市議会 ～市民の声を具体化する「委員会」の力～

今回の12月議会において、体育室にエアコンが未整備だった市内14か所の児童ホームについて、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用してエアコンの設置をはかる補正予算が提案され、可決成立しました。提案理由として、乳幼児親子が主に利用する児童ホームの遊戯室が密になることから、体育室においても遊戯室と同等の環境を整備して利用スペースを拡充し、密を避ける取り組みが必要とのことです。

今回の予算化を歓迎するものですが、実はこれに先立ち、令和元年9月議会に市民の方から「市内の児童ホームに冷暖房設置の早期実現を求める陳情書」が提出され、同年の12月議会で全会一致により採択されています。私が所属する健康福祉委員会（議長も常任委員会には所属・出席することができます）では、この陳情について、実際にエアコン未設置の児童ホームを視察するなど、丁寧に審査し、陳情の採択後も継続してその予算化に向けた状況を担当課からヒアリングを行ってきました。

今回、国からの補助金を活用して整備が進むことになったわけですが、この背景には市民からの要望を議会が受け止め、議員個人の要望ではなく委員会という会議体で調査また合意をして市に投げかけたことが実現につながったものと考えています。大事なことは、議員ひとりひとりで動くのではなく、「委員会」というチームで動くことで、民意を明確な形で示したという点にあると思います。

私は議長としてその所信の中に「多様な意見を尊重しつつ、合意形成のできる議会となるよう努める」「議会の機能を高める不断の取り組みを進める」と掲げましたが、こうした委員会の活発な活動は、議会の機能を高め、市民の声を市政に反映するために、重要なことと思います。これからもこうした委員会の活発な活動を支えていきたいと思っています。

# 海老川上流地区のまちづくりはいま ～東葉高速鉄道新駅は令和8年度を目標に～

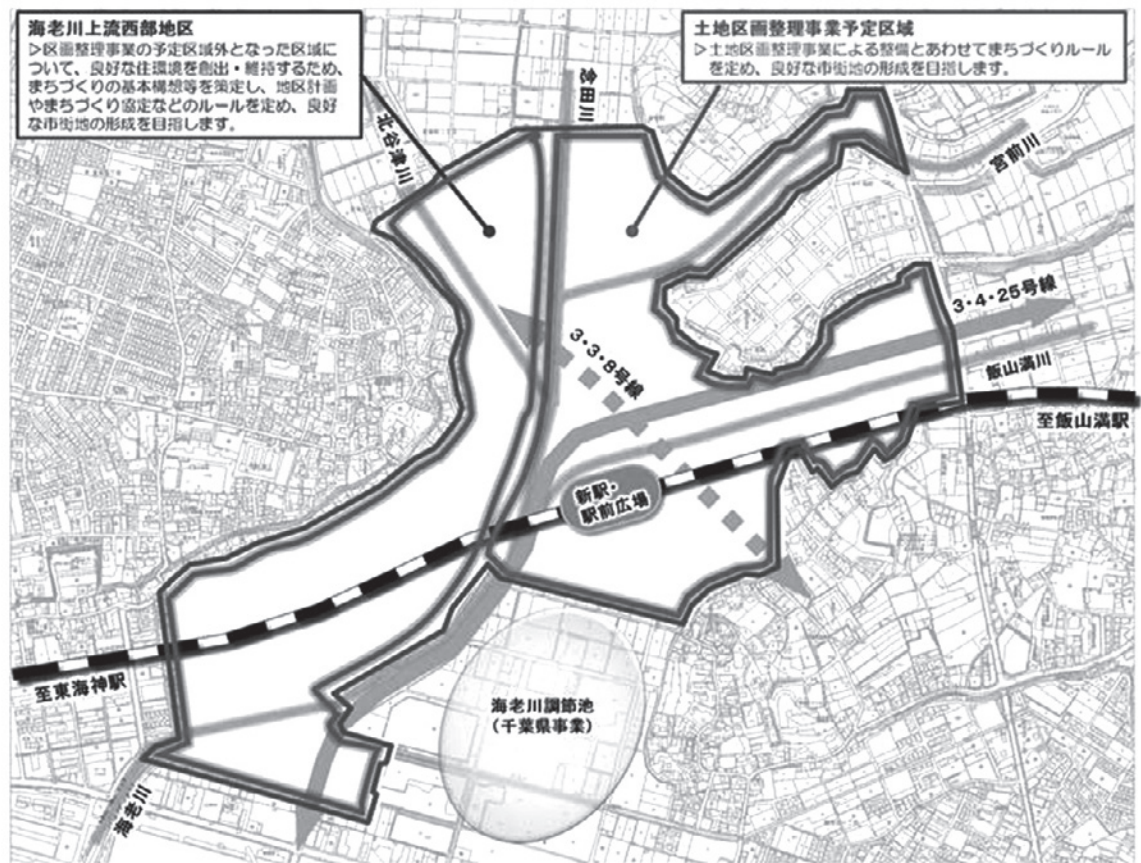
海老川上流地区は、本市の中央部、中心市街地の近くに位置する市街化調整区域です。現在、この地区は休耕地が目立ち、資材置き場や作業場が点在しているほか、一部では小規模な宅地開発（戸建て住宅）、墓地の造成が行われるなど、無秩序な土地の利用が憂慮されるようになりました。また、当地区の中央部には東葉高速線の新駅の構想が以前からあります。この地区の地権者の方々により、土地区画整理事業の実施に向け、平成8年に組合設立準備委員会が設立されていますが、その後事業は停滞していました。

平成28年度から、市の支援も受けて区画整理事業が再度始められ、この地区内に市立医療センターを移転建替えることも含め計画が進められていますが、本年9月に事業費の積算漏れが判明し、準備委員会また市において改めて事業の実施内容の精査を行っていました。

今回の12月議会にあたり、市からは、今後市費56億円を投じてこの事業に協力し、あらたな街づくりを行うこと、あわせて令和8年度を目途に、東葉高速鉄道の新駅（東海神駅～飯山満駅間）を誘致することが表明されました。新駅の誘致にはさらに別途50億円ほどの市負担が生じるものと想定されています。

これを受けて議会では、市の財政事情が窮迫する中で本当に市がこの負担に耐えられるのか、地権者の同意は確実に取れるのか、海老川氾濫時に浸水も想定される地区に医療センターの建て替えを予定することに問題はないのか、等の質問が複数の議員によりなされました。

この地区は市の中心部に位置する重要な地域でもあり、このまま無秩序な開発が進むのを阻止するためにも、市が積極的な支援をしてまちづくりを進めることは必要だと私も思います。事業規模も大きく、期間も長いものとなることが想定されます。議会がしっかりとそのチェック機能を果たしていくことが求められます。



海老川上流地区の予定区域図（市HPから）

# 「パートナーシップ制度を始めることを求める陳情」が採択されました

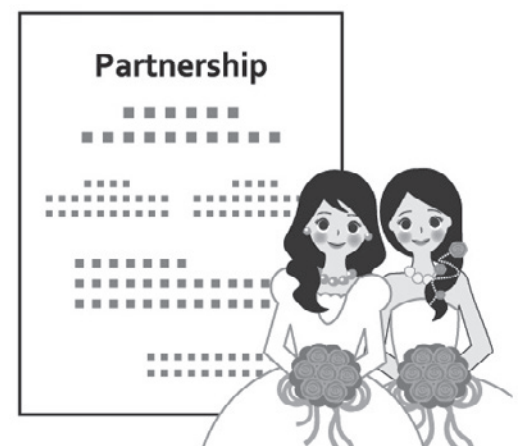
12月議会において、「船橋市においてパートナーシップ制度を始めることを求める陳情」「同性パートナーシップ制度開始に関する陳情」が市内外から提出され、いずれも賛成多数で採択されました。船橋市において、同種の陳情が採択されるのははじめてのことです。

パートナーシップ制度とは、「様々な事情により法的に婚姻することのできない二者に対し、パートナーであることを証明する書類の交付を行う」（陳情書から）制度であり、現在全国で60を超える自治体で制度が開始されています。

いわゆるLGBTと呼ばれる性的少数者の方々（のカップル）にとって、自治体によって公的にパートナーとして証明されることは、日常生活の様々な場面で多くの利便が図られるだけでなく、性的少数者への差別を解消し、多様性を認め合う社会の実現に向けての大きな一歩になると考えます。

私は以前、「船橋市議会LGBT・性の多様性を考える議員連盟」の会長として、LGBTの当事者の方々からご意見を伺い、市の施策への反映を求めてきましたが、今回の陳情採択により、船橋市における施策の推進にあたり大きな力となることと思われまます。

平成30年度に実施された市民意識調査では、70%を超える市民の方が、「LGBTという言葉を知っているし意味も知っている」と回答しており、市民の理解も深まっていることがわかります。今後、さらなる施策の推進により、性的少数者も含め、あらゆる人々にとって暮らしやすいまちとなるよう、努めていきたいと思ひます。



# 船橋市パスポートセンターが開設されます ～令和3年2月1日から～

来る令和3年2月1日(月)、FACEビル5階の船橋駅前総合窓口センター内に船橋市パスポートセンターが開設され、旅券(パスポート)の申請の受理および交付が可能となります。

パスポートの申請・交付については、これまで千葉県が行っており、船橋市民にとって最寄りの窓口は千葉駅近くの旅券事務所まで行かなくてはなりませんでした。平成28年から市町村への権限移譲が進められており、当市でも窓口が開設されることになったものです。

これにより従来と比べ受付窓口までの移動時間の短縮、交通費の負担軽減を図られるほか、申請時に必要な戸籍謄(抄)本の取得、パスポート用の写真撮影、印紙・証紙の購入も含めワンストップで手続きすることが可能になるなど、市民にとって大きく利便性が向上することになります。

今はなかなか海外にも出かけられませんが、感染症終息後に備えて、パスポートの期限を確認してみたい方が多いのではないでしょうか？



パスポートセンター配置図(市HPから)

## 活動日誌

最近の活動のうち、主なものをご紹介します。

- 10月 8日(木) 幼稚園教育振興議員連盟研修会
- 10月 9日(金) 市議会防災訓練・議員研修会
- 10月11日(日) ボーイスカウト千葉県連盟  
スカウトフォーラム
- 10月12日(月) 議会 会派代表者会議
- 10月14日(水) 議会 健康福祉委員会
- 10月16日(金) 議会 議会運営委員会
- 10月17日(土) 千葉ジェッツふなばし開幕戦応援
- 10月20日(火) 船橋地方卸売市場視察
- 10月25日(日) 市議会小中学生オンライン見学会
- 10月27日(火) 市議会ICT活用協議会
- 10月29日(木) 千葉県自治体病院経営都市議会協議会  
要望活動
- 11月 1日(日) 市民パークゴルフ大会挨拶
- 11月 2日(月) 京葉5市議会議長会定例会 於：八千代市
- 11月 8日(日) 海神4・5丁目自治会文化祭
- 11月 9日(月) 全国市議会議長会基地協議会視察  
於：木更津市
- 11月10日(火) 同 理事会
- 11月11日(水) 議会 議会運営委員会
- 11月12日(木) 議会 議案等説明
- ～13日(金)
- 11月16日(月) 議会 開会日
- 11月18日(水) 県立船橋高等学校創立100周年記念式典  
自由民主党船橋市支部役員会
- 11月22日(日) ボーイスカウト千葉県連盟富士・隼章顕彰会
- 11月24日(火) 議会 議案等質疑
- ～12月2日(水) 一般質問
- 12月 7日(月) 議会 健康福祉委員会
- ～8日(火)
- 12月 9日(水) 公明党時局講演会
- 12月14日(月) 議会 予算決算委員会
- ～16日(水)
- 12月18日(金) 議会 議会運営委員会
- 12月21日(月) 議会 閉会日



ほか

## ホームページをご覧ください

日色健人 Official Web Site では、市議会レポートのバックナンバーを掲載しているほか、会議録や質問動画へのリンク、活動ブログを日々(?)更新しています。お時間のあるときにぜひ一度ご覧ください。

アドレスは  
<http://www.taketo2784.net/>  
(タケトフナバシ・ネット) です。  
検索サイトで「日色健人」と入力  
いただいてもたどりつけます。



### 日色 健人(ひいろ・たけと)プロフィール

昭和53年船橋市生まれ 二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破(日本人初)。平成19年4月の船橋市議会議員選挙において初当選。現在4期目。令和元年5月、第62代船橋市議会議長に就任。

地域での主な活動：自由民主党船橋市支部、ボーイスカウト船橋地区スカウト支援委員長、船橋稲門会(早大OB会)、船橋市国際交流協会、日本山岳会、(公社)船橋青年会議所第46代理事長、保護司 ほか

趣味：アウトドアスポーツ(山歩き、キャンプ、カヌー)  
愛読書：ヘンリー・D・ソロー「森の生活」  
座右の銘：Where there is a will, there is a way.  
(意志あるところ必ず道あり)

### 編集後記

昨年は気の晴れるようなことの少ない一年でしたが、それでもみなそれぞれに、日々の暮らしを守ろうと奮闘した一年だったと思います。まだまだ先の見えない日々が続きますが、この我慢の先に再び光の射す日が来ることを信じて待ちたいと思います。今年もどうぞよろしく願いいたします。(健)